

Ⅱ 授業での活用

(2) 協働学習 (Jamboard、ドキュメント、スライド 他)

テ ー マ	他者との意見交換、発表
ね ら い	・児童生徒に Jam board 等を用いて課題学習を行わせることができる ・児童生徒が取り組んだ課題を元に、意見交換させたり発表させたりすることができる
所要時間	約 40 分
準 備 物	①各受講者の Google Workspace のアカウント ②タブレット端末もしくは PC 端末 (受講者 1 人 1 台) ③プロジェクト等への表示用 PC (タブレット) 端末 1 台 ④受講者 4 名程度の班編制 (当日でもよい) ⑤課題学習 (データ)
備 考	・ICT 活用指導カスステップアッププログラムの動画 ※該当部分を視聴した後、動画を止めて演習を行う。 (ステップ 1) Classroom II 課題の配布と回収 (ステップ 2) 複数同時編集機能の利用 Jam board の使用法 ・使用するクラスのポイント (※ 1 (1) クラスの作成と利用で作成したクラスを使用) 4 人班の場合、教師役 1 名、児童生徒役 3 名で Jam board を作成する。作成者は教師として自動的に登録される。Jam board に任意の名前を付けておくと分かりやすい。 教師用画面で操作手順を、児童生徒用画面で作業状況を確認することで、端末の操作指導やトラブル対応ができるようにする。 教師は、画面の Google Classroom ロゴの左隣「三」(メインメニュー)の「指導科目」から、表示する Jam を変更できる。 ・Jam board について ①キーボードによる文字入力や手書による記入ができ、色も選択できる。 ②1 つの Jam board に 20 フレームまで作成できる。 ③児童生徒のレポート作成状況や作成結果を共有することができる。 ④付箋、画像、テキストボックス、円や三角形などの図形を貼り付けられる。 ⑤付箋や手書きなどを選択し、ドラッグで動かすことができる。

【研修の進行例】

研修の流れ	時間	内 容
1 研修の流れの確認	2 分	・研修の流れを確認する。
2 ログイン、サイトからクラスを選択	3 分	・各受講者の端末で、ブラウザから、各自のアカウントでログインする。Google Classroom のサイトを開き、クラスを選ぶ。 Google ログインサイト Google Classroom サイト Classroom の起動とクラスの作成 (0:42～1:26)
3 課題の作成、配布【教師】	10 分	・動画を参考に、課題を作成し、児童生徒に配布する。 ※ 課題例 「住んでいる地域のいいところについて意見を出し合おう」 ・「下書き保存」の状態にしておけば、授業の進行に合わせて、授業途中で配布ができることを確認する。 ファイル共有： Jamboard の使用法 (1:48～3:37) 入力方法： Jamboard の使用法 (4:37～7:24) 課題の配布と回収 (2:32～4:23)
4 課題の作成【児童生徒】	10 分	・Classroom で児童生徒として参加しているクラスを表示する。 ・課題を確認し、配布された課題を作成する。 ・すべての児童生徒の端末に、任意の児童生徒 1 名の解答を表示させ、説明させる。 課題の配布と回収 (5:07～5:54)
5 提出された課題の確認【教師】	10 分	・Classroom で教師として参加しているクラスを表示する。 ・作成した課題を PDF 形式でダウンロードできることを確認する。 課題の配布と回収 (6:20～7:20)
6 振り返り	5 分	・グループで研修を振り返り、Jamboard を協働学習でどのように生かすのか等を意見交換する。 (どのような使い方が考えられるか、場面、題材など)